

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(熊本県)

実施主体名	熊本県
参画事業者	熊本県、JA熊本経済連、JA、輸出商社等
対象品目 対象国・地域	メロン：香港、台湾、シンガポール、マレーシア、マカオ、アメリカ(ロサンゼルス、グアム、ハワイ)、UAE いちご：台湾、香港、マレーシア、シンガポール、アメリカ、UAE、イギリス等

推進体制の構築

- 県、経済連、JA、地域の輸出関係者による連携会議を開催
- 輸出支援PFと連携した現地試食販売等のプロモーション、規制が厳しい国や新規輸出ターゲット国のニーズ調査を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
メロン	45	50
いちご	16	374

生産の転換

- <メロン>
- 海外からの需要が高い赤肉メロンの作期の拡大（春作・秋冬作）に取り組み、周年栽培体系の確立と輸出量の増大を実施
 - 残留農薬基準の厳しい台湾において、バイヤーの市場評価の調査等を実施するとともに、残留農薬検査によるメロン防除の課題を抽出
- <いちご>
- 昨年度から継続して台湾向け栽培実証、残留農薬検査による台湾仕様の防除暦の作成・改良を実施
 - JA担当者会議やいちご専門部会等での情報共有・横展開を実施
- <共通>
- 現地視察・調査、海外バイヤーの招聘、輸出用パッケージの改良を実施

流通の転換

- <メロン>
- 国内物流短縮に向けた福岡港利用による輸送ルート・輸送方法の最適化を実証
 - 鮮度保持の資材や技術の導入試験、各拠点ごとの鮮度劣化原因調査や保管試験を実施
 - 出荷ダンボール強化やパレタイズ資材導入、積載方法改善による輸送試験を実施
- <いちご>
- 輸送中の振動を緩和させる資材を導入
 - 国内物流ルート短縮に向けた輸送ルート・輸送方法を検討

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(大分県)

実施主体名	大分県
参画事業者	大分県、大分県農協、全農大分県本部、ブランドおおいた輸出促進協議会
対象品目 対象国・地域	ぶどう：香港、台湾、シンガポール、ベトナム 柑橘：香港、台湾、シンガポール、ベトナム、タイ

推進体制の構築

- JAおおいた、全農大分及び全農本部等で構成される「輸出産地づくり会議」において、関係者間で産地づくりの進捗状況や情報交換、勉強会等を実施
- ブランドおおいた輸出促進協議会が中心となって、輸出支援PFと連携し、対象国における販売促進活動や情報発信を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
ぶどう	21	26
柑橘	36	46

生産の転換

- ＜ぶどう＞
- 春節期の販売を可能とするための貯蔵技術試験を実施
 - ハウス栽培や露地栽培など県内各産地の生産形態の特徴を活かしたリレー出荷体制を構築
 - 台湾向けに着実に輸出できるよう防除暦の改善を行うとともに、二国間協議が進むベトナム向け輸出の調査・出荷体制を整備
- ＜柑橘＞
- ハウスミカンから中晩柑までのリレー出荷体制を構築
 - 台湾向け防除暦の改良を行うとともに、タイ・ベトナム向けミカンバエ対応の輸出防除体制構築に向けた検討を実施
 - カボスについて、ニーズ調査や加工品の検討等を実施(種なしカボス、黄カボス等含む)

流通の転換

- ＜ぶどう・柑橘＞
- 輸出コスト低減を図るため、県内のぶどう、柑橘、梨を混載し船便での輸送試験を実施し、リードタイム短縮や輸送品質・歩留まり向上を検証

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(宮崎県)

実施主体名	宮崎県
参画事業者	宮崎県庁、みやざき『食と農』海外輸出促進協議会、J A 宮崎経済連、トレードメディアジャパン
対象品目 対象国・地域	きんかん：香港、台湾、シンガポール、UAE

推進体制の構築

- 定期的な連絡会の開催による事業の進捗や輸出業者の取組状況等に係る情報共有を実施
- 県内生産者等を対象としたフォーラムを開催するほか、輸出に意欲ある生産者等に対し、個別訪問の実施、輸出商社等と連携したバイヤーとのマッチングや試験輸出を支援
- 海外バイヤーを招聘し県産品・産地のPRや、香港、台湾、シンガポール等におけるテストマーケティングや市場調査、フェア等を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
きんかん	52	68

生産の転換

- 台湾向け防除暦を取り入れた園地の拡大に向け、輸出向け実証ほを設けている3産地（JAみやざきはまゆう地区、串間市大東地区、日向地区）で県の普及指導員等と連携し防除暦の普及を推進
- これまで温室きんかんの台湾向け生産に取り組んでいる産地（はまゆう地区、串間市大東地区）に、新たに完熟きんかんの台湾向け実証ほを設け横展開を実施
- 生産者等への研修会を開催し、台湾の残留農薬基準の変更や気象、病虫害発生状況に応じた防除暦への対策反映を実施
- 残留基準値が厳しい台湾向けの産地を拡大すれば、産地リレーによる出荷ロットの確保のほか、新規国への輸出にもすぐ対応が可能となる。将来的に、国内向けも台湾向けと同様の防除暦を用いて生産する体制の構築を目指し、台湾向けの産地として支持されることを目指す

流通の転換

- 輸送コスト低減に向けて船舶輸送の定着を図るため、11月以降に以下のリーファーコンテナの混載輸送の実証を実施
 - ①九州では博多港が航路、物流施設とも充実しているが、産地から港までの物流コスト低減を考慮し、近隣港である志布志港、細島港の利用を検討
 - ②志布志港、細島港に寄港する国際コンテナ船のルート変更により、台湾までの船舶輸送日数が4日に短縮となったが、両港を活用するにはコンテナチャーターによる輸送を行う必要があるため、輸出商社と連携して、きんかんと加工品等の他品目（米等の農産物や味噌、リキュール等の加工食品等）との混載を検討し、志布志港、細島港からの船舶輸送による実証を実施
- 実証の前に梱包資材や国外向けラベルに関する予備的な調査を実施

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(鹿児島県)

実施主体名	鹿児島県
参画事業者	鹿児島県、JA鹿児島県経済連、Japan potato、垂水市漁協、東町漁協
対象品目 対象国・地域	①かんしょ：香港、シンガポール、台湾、タイ ②きんかん：香港、シンガポール、台湾 ③ブリ・カンパチ：米国、アジア（香港、シンガポール、台湾、ベトナム、マレーシア等）、EU

推進体制の構築

生産の転換

流通の転換

<品目共通>

➤ 昨年度事業で設置したGFP鹿児島を活用し、昨年度事業で展開可能性を探ったフランスを中心として、海外バイヤー等への魅力の発信や、見本市と連携したイベントなど、オール鹿児島での品目横断的なプロモーションを実施

<かんしょ>

➤ 鹿屋市の生産者へ、有機栽培の技術指導や資材導入支援を実施

➤ 国際水準GAPや有機JAS認証等の取得に向け検討を行い、輸出規制の厳しい国への対応を推進

<きんかん>

➤ JA南さつま、JAきもつきの生産者へ、防除暦の作成など栽培・技術指導を行い、残留農薬検査や台湾向け防除暦のアップデートを実施

➤ 作成した防除暦のJA北さつま等へ横展開や国際水準GAP取得に向け検討を実施

<ブリ・カンパチ>

➤ ブリの安定供給に向け、中間育成に適した種子島地区と連携した周年出荷体制やR8の新加工場稼働に向けた輸出向け出荷体制を構築

➤ カンパチの安定供給に向け、漁協に中間育成グループを組成し、種苗生産～中間育成技術の開発・検証を実施

<品目横断>

➤ 志布志港を活用して、シンガポール・タイ向けに、きんかんと混載可能な野菜の拡大、混載輸出スキームの確立のための輸送実証を実施

➤ 県内から水産物等を輸出する際の温度検知QRコードラベルを活用した温度モニタリングによる鮮度保持の「見える化」等の検証を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
かんしょ	773	1,110
きんかん	21	28
ブリ・カンパチ	11,575	16,714